

# 外国語活動学習指導案

学習者 附属小学校3年1組 34名

指導者 伊藤 憲子 (2/5)

学習者 附属小学校3年2組 33名

指導者 大塚 湧貴 (1/5)

学習者 附属小学校3年3組 34名

指導者 山本 真央 (3/5)

単元名 自分の住む町のすてきな場所を友達に伝えよう！

(教材 3年—Unit8 What's this? これなあに?)

## 1. 単元目標

自分や友達の住む町の素敵な場所（お店や施設等）を詳しく知り合うために、自分の住む町にある素敵な場所を紹介する際に、相手に伝わるように工夫しながら、色、形、大きさ、動物、果物、野菜など身の回りのものについて、尋ねたり答えたりして伝え合う。

## 2. 単元について

必然性	お互いの住む町の素敵な場所（お店や施設等）を詳しく知り合うために、友達に質問したり、自分がすてきだと思ふ理由を答えたりする
リアル感	自分の住む町にある素敵な場所（お店や施設等）を友達に伝えるためのキーセンテンスとコミュニケーション
楽しさ	同じ学年の友達の住む町について知る楽しさ
相手意識	自分の住む町の素敵な場所（お店や施設等）を紹介するために、友達にわかりやすく伝えようとする意識

## 3. 言語材料（下線は新出表現）

○ What's this? Hint, please. It's ( ). That's right.

[既出] 挨拶、状態・気持ち、数(1～20)、色、食べ物、野菜、果物、スポーツ、動物

[期待する既習表現] What color? What shape? How many? What ( ) do you like? I like ( ).  
Do you like ( )? Yes, I do. / No, I don't.

4. 該当する学習指導要領における領域別目標と、本校における Challenge・Can-Do リストとの関連

話すこと(やり取り)	学習指導要領 【CS】	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
	Challenge リスト 【CL】	(イ)体調や気分を表す言葉や、数字や色・形、などについて、聞き取りやすい声の大きさや速さ、動作や表情を交えながら話したり、うなずくなどの反応を返しながら聞いたりして伝え合おうとする。

5. 単元の評価規準

	知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと(やり取り)	自分の住む町の素敵な場所（お店や施設等）について、 <b>What's this ?</b> や <b>It's ~</b> などの既習表現を用いて、尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	お互いの住む町の素敵な場所（お店や施設等）をくわしく知り合うために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りのもののなかで表現できるものを活用して、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	お互いの住む町の素敵な場所（お店や施設等）をくわしく知り合うために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りのもののなかで表現できるものを活用して、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

6. 「話すこと〔やり取り〕」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（5時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】, ○) 【 】=誌面化されている活動	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価の観点（評価規準） 〈方法〉
1	<p>◆単元のゴールと見通しをもち、自分の好きなものを表す言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○Classroom English Practice</p> <p>○Small Talk 写真とともに自分の町の素敵な場所と理由を紹介するやり取りを通して、自分の町の素敵な場所と理由について具体的な表現を聞き取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: I like Akeno.</p> <p>H: Why?</p> <p>A: I like “Akeno Across Town.”</p> <p>A: First. What’s this ? ( 画像を見せながら)</p> <p>H: It’s Book Store.</p> <p>A: That’s right. I like “One piece.”</p> <p>Second. What’s this ? (画像を見せる)</p> <p>H: It’s game corner.</p> <p>A: Close.</p> <p>It’s “OBS BOWL”. I can play bowling.</p> <p>Last. What’s this?</p> <p>H: It’s “Tettako.”</p> <p>A: That’s right. I like takoyaki. It’s yammy.</p> <p>H: I see. It’s my turn. I like Oita city.</p> <p>以降自分の住んでいる町について紹介する。</p> </div> <p>○単元を通した目標について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お互いのことをもっとよく知るために、自分の住む町のすてきな場所（お店や施設等）を友達に伝えよう。</p> </div> <p>○HRT が作ったスライドを見て、いろいろなお店や施設、好きなもの（食べ物・野菜・スポーツ等）が入っていることに気づく。</p> <p>○本時のめあてについて知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の好きなものを表す言い方になれよう。</p> </div> <p>○Activity 一人ひとりがビンゴカードを持ち、ビンゴカードのマスの中の好きな場所に動物やスポーツを選び、友達とのやり取りの中でビンゴをする。</p>				
					<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>

	<p>[想定される児童の姿]</p> <p>A: What sports do you like? B: I like soccer. It's fun. A: Me, too. B: What animals do you like? A: I like panda. It's cute. B: Nice. A: See you. B: See you.</p>				
--	---	--	--	--	--

週末 課題	◆週末課題で、自分の住む町の素敵な場所を紹介する時に必要な写真を撮る。				
	○iPad を家に持ち帰り、自分の住む町の素敵な場所を紹介する時に必要な写真を撮る。 ・ロイロノートに自分の紹介する順番に写真を並べておくようにする。				

2	◆自分の住む町の素敵な場所やその理由を紹介する表現に慣れ親しむ。				
	<p>○Classroom English Practice</p> <p>○Small Talk :</p> <p>A: I like "Akeno." H: Why? A: I like "Akeno Across Town." I like Book store. I like "ONE PIECE." What comic do you like? H: I like "Aoashi". It's my turn. I like "Takae". A: Why? H: I like bread shop. I like apple pie. Do you like apple pie? A: Yes, I do.</p> <p>○本時のめあてについて知る。 好きな場所の理由を言い表す表現に慣れよう。</p> <p>○Activity ウェビングマップで自分の住む町の素敵な場所のメモを作る。</p> <p>A: I like "Kaname machi." B: Why? A: I like "JR OITA CITY." I like movie theater. I like "Pokemon." B: Me too. It's my turn. I like "Funai." A: Why? B: I like "Tokiwa." I like shopping. A: Nice.</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>

○Let's practice  
 教師と児童のやり取りを通じ、自分の好きな場所や理由を表す表現に慣れ親しむ。  
 ○ペアとのやり取りを動画に残す。

◆友達とお互いのことをさらに知り合うために、自分の住む町の素敵な場所の理由を広げ、聞いたり答えたりする。

○Classroom English Practice  
 ○Small Talk  
 教師とのやり取りを聞き、教師のウェビングマップを児童の質問で広げる様子を見せる。  
 教師モデルを再度表し、表現が広がった様子を捉えられるようにする。

○本時のめあてについて知る。  
 お互いのことを知り合うために、自分の町のすてきな場所の理由をもっとくわしくしよう。

○前時に撮影した自分の動画を確認する。  
 ○Activity  
 班の中で素敵な場所と理由を交流し、質問をしあい、自分のウェビングマップを広げる。

【想定される児童の姿】

A: I like "Kaname machi."  
 B・C: Why?  
 A: I like "JR OITA CITY."  
 I like movie theater. I like "Pokemon".  
 B: What "Pokemon" do you like?  
 A: I like "Pikachu". It's very cute.  
 Do you like "Pikachu"?  
 B: Yes, I do.  
 C: Movie theater, what food do you like?  
 A: I like popcorn. I like caramel popcorn.  
 It's very good. Do you like popcorn?  
 C: No, I don't. I like French fries.  
 A: So nice.

○中間指導を行い、どのような質問ができたか尋ねる。  
 ○Activity2  
 広がったウェビングマップを見ながら、素敵な場所を紹介する動画を撮影する。  
 ○どのような表現をするか戸惑っている児童がいる場合は、質問をして解決する。

[話すこと(や)]の記録に残す評価  
 ◎自分の町の素敵な場所について、What ( ) do you like?や I like ~.などを用いて、尋ねたり答えたりしている。  
 (行動観察・記述分析)

3  
 (本時)

や

◆クラスの友達とお互いのことをもっと知り合うために、自分の住む町の素敵な場所を伝え合ったり、その理由を尋ね合ったりする。

- Classroom English Practice
- 前時に作ったウェビングマップを確認する。
- 本時のめあてについて知る。

広がったウェビングマップをもとに、自分の住む町のすてきな場所（お店や施設等）をクラスの友達に伝えよう。

- 前時に撮影した動画を見ながら My Goal をたてる。
- Activity

教室（プレイルーム）中を歩き回り、友達と自分の住む町の素敵な場所を伝え合ったり、その理由を尋ね合ったりする。

[想定される児童の姿]

A: Hello.  
B: Hello.  
A: I like Akeno.  
B: Why?  
A: I like “Akeno Across Town.”  
A: First. What’s this ? (画像を見せながら)...  
B: It’s Book Store.  
A: That’s right. I like “ONE PIECE.”  
Second. What’s this ? (画像を見せる)...  
B: It’s game corner.  
A: Close.  
It’s “OBS BOWL”. I can play bowling.  
Last. What’s this?  
B: It’s “Tettako.”  
A: That’s right. I like *takoyaki*. It’s yammy.  
B: I see. It’s my turn. I like Oita city.  
以降自分の住んでいる町について紹介する。

- 中間指導を行い、工夫している姿を価値づけ、表現の工夫を確認する。
- Activity2  
広がったウェビングマップを見ながら、素敵な場所を紹介する動画を撮影する。

[話すこと（や）]の記録に残す評価

◎お互いの住む町の素敵な場所（お店や施設等）をくわしく知り合うために、相手に伝わるようにゆっくり話したりジェスチャーをしたりして工夫しながら、色や形など、身の回りのもののなかで表現できるものを活用して、尋ねたり答えたりして伝え合っている。

〈行動観察・紙面分析・動画分析〉

◎お互いの住む町の素敵な場所（お店や施設等）をくわしく知り合うために、相手に伝わるようにゆっくり話したりジェスチャーをしたりして工夫しながら、色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

〈行動観察・紙面分析・動画分析〉

◆学年の友達とお互いのことをもっと知り合うために、自分の住む町の素敵な場所を伝え合ったり、その理由を尋ね合ったりする

○Classroom English Practice

○本時のめあてについて知る。

広がったウェビングマップをもとに、自分の住む町のすてきな場所（お店や施設等）を学年の友達に伝えよう。

○前時に撮影した動画を見ながら My Goal をたてる。

教室（プレイルーム）中を歩き回り、友達と自分の住む町の素敵な場所を伝え合ったり、その理由を尋ね合ったりする。

[想定される児童の姿]

A: Hello.

B: Hello.

A: I like Akeno.

B: Why?

A: I like “Akeno Across Town.”

A: First. What’s this ? (画像を見せながら)

B: It’s Book Store.

A: That’s right. I like “ONE PIECE.”

Second. What’s this ? (画像を見せる)

B: It’s game corner.

A: Close.

It’s “OBS BOWL”. I can play bowling.

Last. What’s this?

B: It’s “Tettako.”

A: That’s right. I like *takoyaki*. It’s yammy.

B: I see. It’s my turn. I like Oita city.

以降自分の住んでいる町について紹介する。

○中間指導を行い、工夫している姿を価値づけ、表現の工夫を確認する。

[話すこと（や）] の記録に残す評価

◎お互いの住む町の素敵な場所（お店や施設等）をくわしく知り合うために、相手に伝わるようにゆっくり話したりジェスチャーをしたりして工夫しながら、色や形など、身の回りのもののなかで表現できるものを活用して、尋ねたり答えたりして伝え合っている。

〈行動観察・紙面分析・動画分析〉

や

や

◎お互いの住む町の素敵な場所（お店や施設等）をくわしく知り合うために、相手に伝わるようにゆっくり話したりジェスチャーをしたりして工夫しながら、色や形など、身の回りの物の中で欲しいものについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

〈行動観察・紙面分析・動画分析〉

7. 本時の指導（授業者 大塚 湧貴）

Unit 8 単元名 自分の住む町のすてきな場所を友達に伝えよう！

1 / 5 時間（本時）

**本時のねらい** 友達とお互いの住む町の素敵な場所を交流することについて、教師モデルを見ながら内容を考え共有したり、ゲームの中で自分の好きなものを言い表すキーセンテンスを繰り返し話したりすることを通して、単元ゴールの見通しをもち、自分の好きなものを表す言い方に慣れ親しむようにする。

**（評価規準）** ※本時案に位置づける

具体的な児童の姿 「自分の町のすてきな場所について伝え合う活動をこれからしていこう。」  
 「“I like ～.”を使えば、自分がすてきだと思える理由を伝えられそうだ。」  
 「自分の町のすてきなところを探してみたい。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉※支援を要する児童の手立て
5分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p><b>Warming up</b></p> <p>○Classroom English Practice</p>	<p>※児童の実態に合わせてゆっくり歌ったり本時で使う言葉を意識させたりしながら行う。</p>
15分	<p>○Small Talk</p> <p>教師モデルの動画を見て、わかったことを交流する。</p> <p>○単元を通した目標について知る。</p> <p>お互いのことをもっとよく知るために、自分の住む町のすてきな場所を友達に伝えよ</p> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <p>自分の好きなものを表す言い方になれよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師モデルの動画を見て、教師がどのような内容を話しているのか、どのような英語表現を用いていたか、どのような形式でやり取りをしていたかを交流するようになる。</li> <li>・児童が発表したことを、板書に位置づけたり、キーセンテンスとして掲示したりする。</li> <li>・複数の教師モデルを提示することで、固定された形式ではなく、自分の町の様子に合わせて形式を選ぶことができるように配慮する。また、板書に位置づける際に、教師モデル同士の違いを視覚的に表すようにする。</li> <li>・素敵な場所やその理由を表す際に、“I like ～.”を用いればよいことに注目するようにし、本時のめあてを立てるようにする。</li> </ul>
5分	<p><b>Activities</b></p> <p>○Small Talk</p> <p>HRT と数人の児童のやり取りを通じて、キーセンテンスを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“What ～ do you like? “ ” I like ～.”の表現を何度も発話したり、聞いたりするようにし、自分の素敵な場所やその理由を自信をもってやり取りできるように練習する。</li> </ul>

	<p>H: Hello. C: Hello. H: What sport do you like? C: I like soccer. It's fun. H: Me, too.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師は何度も発話したり、強調したりして児童がキーセンテンスに慣れ親しむことができるようにする。</li> </ul>
15分	<p>○Activity スポーツ・色・野菜・動物の中からそれぞれ2つずつ選び、ビンゴカードに記載する。好きなものを友達とやり取りをしながら尋ね合い、ビンゴゲームをする。</p> <p>A: Hello. B: Hello. A: What sport do you like? B: I like soccer. It's fun. A: Me, too. B: What animal do you like?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビンゴのやり方を英語やジェスチャーを交えて伝え、児童がどのようなルールでビンゴゲームを行うか捉えることができるようにする。</li> <li>児童は自分の好きなものを回答するシートを埋めるようにする。その後、ビンゴシートに学級の友達を書きそうな友達の好きなものをビンゴシートに記入する。</li> <li>ビンゴゲームの中では、同じ人とやり取りは1回しかできないことを押さえる。</li> <li>ゲームの途中で中間指導を入れる。中間指導では、「ビンゴゲームを楽しむだけになっていないか」問いかけ、既習表現を用いたやり取りが充実することに意識が向くようにする。</li> </ul>
4分	<p><b>Comments</b> ○本時の振り返りをする。 ○HRT のコメントを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りは、「好きなものを言い表す言い方に慣れ親しむことができたか、自分の住む町にはどのような素敵な場所があるか」という視点で振り返るようにする。</li> </ul>
1分	<p><b>Greetings</b> ○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週末課題としてタブレットを持ち帰り、自分の住む町のすてきな場所の写真を3枚程度撮影してくるよう伝える。</li> </ul>

7. 本時の指導（授業者 伊藤 憲子）

Unit 8 単元名 自分の住む町のすてきな場所を友達に伝えよう！

2 / 5 時間（本時）

**本時のねらい** 友達とお互いの住む町の素敵な場所を交流することについて、ウェビングマップで自分の素敵な場所を紹介するメモを作ったり、メモを見ながら友達と交流したりすることを通して、自分の住む町の素敵な場所やその理由を紹介する表現に慣れ親しむようにする。

**（評価規準）** ※本時案に位置づける

具体的な児童の姿 「ウェビングマップを見ながら “I like～” ですてきな場所を表現することができた。」  
 「 “I like～” 以外の言い方も知りたいな。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉※支援を要する児童の手立て
5分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p><b>Warming up</b></p> <p>○Classroom English Practice</p>	<p>※児童の実態に合わせてゆっくり歌ったり本時で使う言葉を意識させたりしながら行う。</p>
10分	<p>○Small Talk</p> <p>A: I like “Akeno.”</p> <p>H: Why?</p> <p>A: I like “Akeno Across Town.”</p> <p>I like Book store.</p> <p>I like “ONE PIECE.”</p> <p>Do you like “ONE PIECE”?</p> <p>H: Yes, I do. It’s my turn.</p> <p>I like “Takae”.</p> <p>A: Why?</p> <p>H: I like bread store.</p> <p>I like apple pie.</p> <p>Do you like apple pie?</p> <p>A: Yes, I do.</p> <p>○本時のめあてを立てる。</p> <p><b>すてきな場所の理由を言い表す表現に慣れよう。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師モデルの動画を見て、素敵な場所の理由の言い表し方を捉えるようにする。</li> <li>・児童が発表したことを、板書に位置づける。</li> <li>・素敵な場所やその理由を表す際に、“I like ～.”を用いればよいことに注目するようにし、本時のめあてを立てるようにする。</li> </ul>
15分	<p><b>Activities</b></p> <p>○Activity</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末課題で撮影してきた写真を利用しながら、自分の紹介できそうなことを書き込んでいくようにする。</li> </ul>

	<p>ウェビングマップで自分の住む町の素敵な場所のメモを作る。</p> <p>○Let's practice</p> <p>HRT と数人の児童とで、メモを見ながらやり取りを複数回行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素敵な場所とその理由を言い表す表現を何度も児童が聞き、慣れ親しむことができるようにする。</li> </ul>
10分	<p>○Activity</p> <p>メモを見ながら自分の住む町のすてきな場所をペアと紹介しあう。その際、ペアとのやり取りを動画に撮るようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: I like "Kaname machi."  B: Why?  A: I like "JR OITA CITY."  I like movie theater.  I like "Poke'mon."  B: Me too. It's my turn.  I like "Funai."</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェビングマップのメモを見ながら、自分の住む町の素敵な場所とその理由を紹介し合うようにする。</li> <li>・ペアとのやり取りを動画に撮り、本時の振り返りや次時の活動につなげるようにする。</li> </ul>
4分	<p><b>Comments</b></p> <p>○本時の振り返りをする。  ○HRT のコメントを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りは、「自分のウェビングマップを見ながら素敵な場所を伝えられたか、素敵な場所の理由を言い表すことができたか」という視点で振り返るようにする。</li> </ul>
1分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	

## 7. 本時の指導

Unit 8 単元名 自分の住む町のすてきな場所を友達に伝えよう！

3 / 5 時間 (本時)

**本時のねらい** 友達とお互いの住む町の素敵な場所を交流することについて、紹介内容をくわしくするために友達とお互いの紹介内容に質問しあったり、質問の仕方を交流したりすることを通して、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりするようにする。

(評価規準) ※本時案に位置づける

具体的な児童の姿 「What ○○ do you like～? を使って友だちの紹介内容について質問できた。」  
 「知らない言葉をジェスチャーと Do you like～? を組み合わせて尋ねることができた。」  
 「I like～. を使って友達が聞いてくれた質問に答えることができた。」

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉※支援を要する児童の手立て
2分	<p><b>Greetings</b></p> <p>○はじめのあいさつをする。</p> <p><b>Warming up</b></p> <p>○Classroom English Practice</p>	<p>※児童の実態に合わせてゆっくり歌ったり本時で使う言葉を意識させたりしながら行う。</p>
10分	<p>○教師の自分の町の素敵な場所についての紹介を聞き、聞いてみたいことを質問する。</p> <p>○Small Talk</p> <p>A: I like "Takae".                      H: Why?                      A: I like "Takae chuo koen".                      I like long slide.                      I enjoy music festival.                      I like "kusasuberi".</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>A: I like "Takae".                      H: Why?                      A: I like "Takae chuo koen".                      I like long slide.                      I like "buranko".                      It's very fun.                      I enjoy music festival.                      I like guitar.                      I like french fries.                      I like "kusasuberi".                      It's very exciting.                      I don't like ski.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師は自分の町の素敵な場所を紹介するウェビングマップを提示し、それを指しながら児童に伝える。ウェビングマップは情報を制限した不完全なものを示すようにする。</li> <li>・紹介を終えると、児童に質問を求め、質問に答えながら、ウェビングマップに赤で加筆するようにする。</li> <li>・加筆した内容を付け足して、教師が自分の町の素敵な場所についての紹介を再度行う。</li> <li>・単元ゴールを振り返り、「友達とお互いのことを今よりも知り合うために」という活動の目的を確認する。</li> <li>・質問するときどのような表現が使えるか全体で確認する。</li> <li>・ホワイトボードで使える表現を確認し、ホワイトボードを写真に撮り、児童にロイロノートで送るようにする。</li> </ul>

	<p>○本時のめあてを立てる。</p> <p><b>お互いのことを知り合うために、自分の町のすてきな場所の理由をもっとくわしくしよ</b></p>	
20分	<p><b>Activities</b></p> <p>○Activity</p> <p>前時の自分とペアとのやり取りを動画で確認し、班の友達と質問し合いながら紹介内容を詳しくする。</p> <p>A: I like “Kaname machi.” B・C: Why? A: I like “JR OITA CITY.” I like movie theater. I like “Pokemon”. B: What “Pokemon” do you like? A: I like “Pikachu”. It’ very cute. Do you like “Pikachu”? B: Yes, I do. C: It’s movie theater. What food do you like? A: I like popcorn. I like caramel popcorn. It’s very good. Do you like popcorn? C: No, I don’t. I like French fries. A: So nice.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に撮影した動画を見ながら、どのような表現があったかを確認する。</li> <li>・グループを作り、発表者と質問者に分かれ紹介し合う。発表者の発表を聞いた後、質問者は発表者の紹介内容が広がるような質問をするようにする。</li> <li>・発表者は質問された際に、自分のウェビングマップに赤で加筆するようにする。</li> <li>・中間指導を行い、発表者の困りと質問者の困りをそれぞれ尋ねるようにする。</li> </ul> <p>◎自分の町の素敵な場所について、What ( ) do you like? や I like ~.などを用いて、尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・記述分析〉</p>

<p>10分</p>	<p>○Activity</p> <p>広がったウェビングマップを見ながら、自分の住む町の素敵な場所をペアに紹介する。</p> <p>A: I like <i>"Takae"</i>.</p> <p>H: Why?</p> <p>A: I like <i>"Takae chuo koen"</i>.</p> <p>I like long slide.</p> <p>I like <i>"burankō"</i>.</p> <p>It's very fun.</p> <p>I enjoy music festival.</p> <p>I like guitar.</p> <p>I like french fries.</p> <p>I like <i>"kusasuberi"</i>.</p> <p>It's very exciting.</p> <p>I don't like ski.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアでやり取りを行い、前時の紹介内容からより詳しくなったかお互いに確認するようにする。</li> <li>・時間があれば、ウェビングマップをテレビに映しながら、数人の児童に発表させる。</li> </ul>
<p>3分</p>	<p><b>Comments</b></p> <p>○本時の振り返りをする。</p> <p>○HRT のコメントを聞く。</p> <p><b>Greetings</b></p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りは、「自分の紹介内容がふえたか、増やしてもらった紹介内容を自分なりに表そうとしたか」という視点で振り返るようにする。</li> </ul>